

大久野島ビジターセンター便り

Vol.85 (R2.8.25)

今年は暑さが厳しいですが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか？

島では今年は特にセミの声が賑やかに聞こえてきます。来島者が少ない(コロナ禍&酷暑の)影響でしょうか？例年より早く子供たちの夏休みが終わった影響で周りが静かだからでしょうか？それとも梅雨明けが長引いてセミたちの活動期間がずれているのでしょうか？セミたちにとっては過ごしやすい環境なのかな？と思いながら毎日聞いています。動植物たちは、その時その時の環境に適応しながら、暑さを乗り切っているのでしょうか！

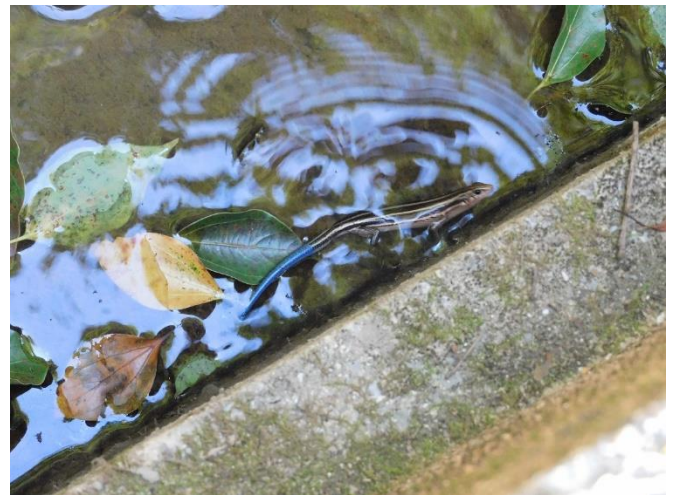
今回は、酷暑が続く大久野島でがんばっている動植物の情報をお届けいたします。

酷暑を乗り切ろう！



【ツクツクボウシ(オス) 2020.8.24 撮影】

- ・腹部を上や下にしながら、大きな声で鳴いていました。今年は島で最初に鳴いた(6月末)のがツクツクボウシでした。
- ・長梅雨の影響かな？いつもは8月下旬にあまり聞かない、アブラゼミやニイニゼミの声もツクツクボウシの声と一緒に聞こえてきます。



【ニホントカゲ(幼生) 2020.8.25 撮影】

- ・毒ガス資料館の裏は木陰になっているので、たくさん生き物たちが日中に休憩をしています。ヤマガラは気持ちよさそうに水浴びをしていました。
- ・陸上にいたニホントカゲは、人の気配にびっくりして側溝へ逃げていきました。水がたまっているので大丈夫なのかな？と思いましたが、泳いでいました。



【オオシオカラトンボ(オス) 2020.8.24 撮影】

- ・毒ガス資料館の裏側はトンボたちにとっても良い場所です。いつもは数匹のオスが縄張り争いをしていますが、この日は写真の個体だけが、悠然と止まっています。
- ・トンボたちは暑い日には、日に当たる面積を少なくするために逆立ちをして止まるそうです。



【アナウサギ 2020.8.24 撮影】

- ・キャンプファイヤー場のサザンカの下では、アナウサギたちがまったりと休憩をしていました。
- ・夏の暑さはウサギたちにとってはつらい環境なのですが、島のウサギたちは自分たちの縄張りの中にある涼しい場所を探して過ごしています。夏の日中は特にそっと見守ってくださいね。



【日なたに生育するクサギ(写真:左)と日陰に生育するクサギ(写真:右) 2020.8.24 撮影】

- ・島では、8月1日にパラッと雨が降ってから、24日までの降雨量が0となっています。
- ・何日も雨が降っていないので、日なたのクサギの葉はクタクタになっていました。一方で、木陰になっている場所のクサギは元気いっぱいです。どちらも同じぐらいの大きさの木ですが、場所によってこんなにも違うんだなあと、夏場は日なたの植物たちが気の毒になりました。
- ・クサギは、漢字で“臭木”と書くぐらい、葉や幹が傷つくと嫌な臭いがします。一方で、花はかわいらしくてとても良い香りがします。暑い毎日ですが、クサギの花の香りに癒されています。みなさんも、島に来られた際には楽しんでみてくださいね！

大久野島ビジターセンター便り vol. 85 R2. 8. 25 発行
発行・編集：大久野島ビジターセンター
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島
電話・FAX：(0846) 26-0100
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）
お問い合わせなどはこちらまで 担当 馬場